

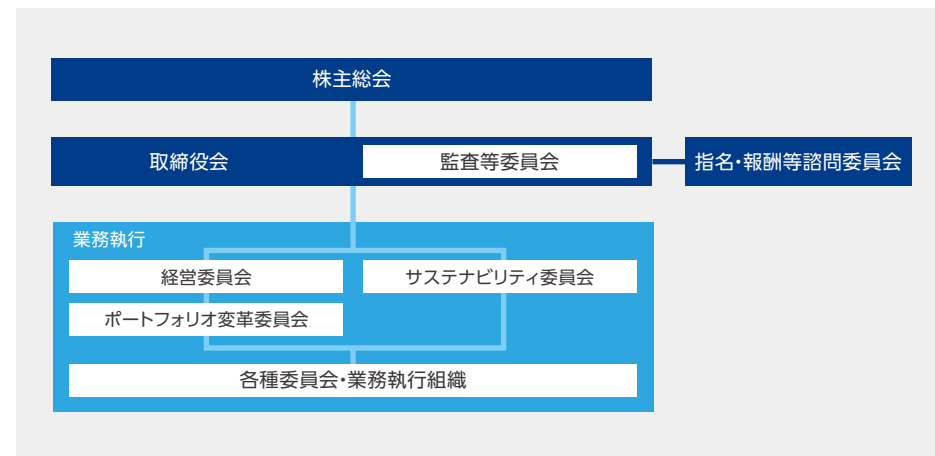
サステナビリティ経営の推進体制

デンカグループは、サステナビリティを巡る重要経営課題（マテリアリティ）を特定し、経営計画「Mission2030」の中で「3つの成長戦略（事業価値創造・人財価値創造・経営価値創造）」とKPIと目標を設定して、課題解決に取り組んでいます。

1 サステナビリティ委員会

当社では、2023年度の経営計画「Mission2030」の始動にあわせて、サステナビリティに関する課題への対応と進捗管理を目的とした「サステナビリティ委員会」を新たに設置いたしました。本委員会は執行部門内の組織とし、各対象部門からマテリアリティごとに設定したKPIの達成に向けた活動状況の報告を受け、審議および提言を行っております。これらの審議結果は、取締役会へ報告するとともに、経営計画の進捗状況として、ステークホルダーの皆さまへ定期的にご報告しております。

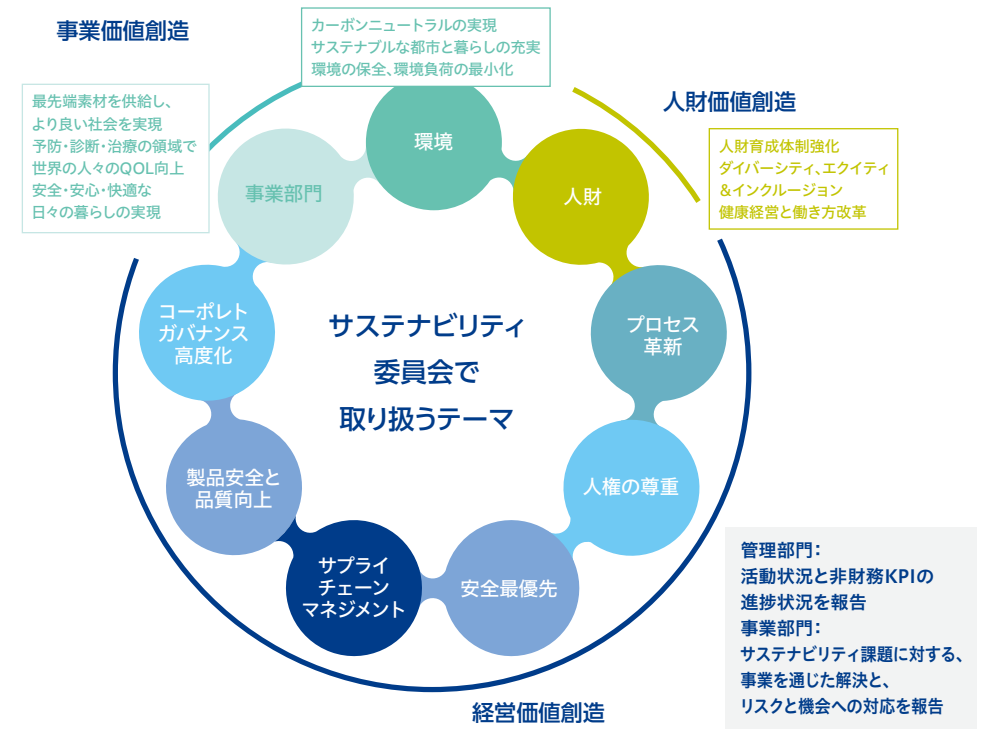
サステナビリティ推進体制図



サステナビリティ委員会メンバー

【委員長】 社長	【副委員長】 経営企画部 担当役員	【委員】 本社管理部門 担当役員	【オブザーバー】 取締役	【事務局】 経営企画部
-------------	-------------------------	------------------------	-----------------	----------------

討議テーマ 以下のテーマに沿った執行部門の取り組みを審議し、その結果等について取締役会へ報告・提言します。



審議プロセス



2 重要経営課題(マテリアリティ)

デンカグループは、全従業員の活動の根幹となるビジョン(コアバリュー、パーパス、ミッション)に基づき、グループ全体の事業活動におけるESG(環境・社会・ガバナンス)の基本方針として「デンカグループESG基本方針」を掲げています。

この方針を遵守するため、当社は重要な経営課題(マテリアリティ)を特定し、経営計画「Mission2030」の成長戦略において、これらの課題解決に向けた取り組みを推進しています。

本表では、これらの要素の関係性を示すとともに、実行度を測るためのKPI(重要業績評価指標)および2030年度の目標を明示しています。

デンカグループESG基本方針の実践のための重要経営課題(マテリアリティ)と、課題解決を目指すM30のKPIと目標

デンカグループESG基本方針	マテリアリティ(重要経営課題)	Mission2030 KPI(重要業績評価指標)	2030年目標
① 気候変動対策の推進	・カーボンニュートラルの実現	(1) グループ全体の温室効果ガス排出量削減 (2) 再生可能エネルギー発電最大出力 (3) 再生可能エネルギー＋非化石証書付電力構成比 (4) グループ全体の省エネ推進	13年度比60%削減(100万t) 150MW 76% エネ原単位前年比1%の削減継続
② 環境負荷低減と生物多様性の保全・保護	・環境の保全、環境負荷の最小化	(1) 廃棄物ゼロエミッション継続 (2) TNFDに基づく生物多様性・水などの自然関連リスクへの対応	廃棄物ゼロエミッション継続 TNFDに準拠した生物多様性保全計画の遂行とグループ内啓発活動の継続
③ 持続可能な経済成長と社会課題の解決	・新事業創出による持続的成長 ・健康寿命の延伸と健康格差の是正 ・サステナブルな都市と暮らしの充実	(1) スチレン系樹脂ケミカルリサイクルによる脱炭素、循環型社会への貢献 (2) CO ₂ コンクリート固定化技術の確立 (3) 「3つ星事業」への集中	PSケミカルリサイクルの社会実装コンソーシアム確立 LEAFの拡販 100%
④ 人権の尊重	・人権の尊重	(1) 国連ビジネスと人権に関する指導原則及び国連グローバルコンパクトに基づく人権方針策定と人権尊重の徹底	グループ・サプライチェーンの人権リスク特定と対応プロセスの確立
⑤ DE&Iの推進と人財育成・働き方改革	・人財育成体制の強化 ・DE&Iの推進 ・健康経営と働き方改革	(1) 平均研修金額(1人当たり) (2) 管理職における女性/外国籍/経験者採用の合計比率 (3) 女性管理職比率 (4) 男性育児休業取得率 (5) 経験者(キャリア)採用比率 (6) 従業員エンゲージメントの向上 (7) 時間外労働の削減 (8) 年次有給休暇取得率の向上 (9) シフトブレイカーの導入 (10) 在宅勤務率 (11) 体重適正者 (12) 高ストレス者 (13) 良い運動習慣 (14) 喫煙者比率の低減	2021年度比2倍 50% 15% 85% 50% エンゲージメントの可視化と継続的な改善 30時間以下/人・年 100% — 週2日 80% 10%以下 40% 12%以下
⑥ 安全最優先・働きやすい職場づくり	・プロセス革新 ・安全最優先	(1) 省力化人数 (2) 労働災害度数率 (3) 労働安全・保安火災のオンライン教育	720人(2023-2030年度累計) 本体・関係会社 0.2以下 グループ社員全員対象
⑦ より良い地域社会形成への参画・貢献と信頼の醸成	・サプライチェーン・マネジメント	(1) 原料リスク評価によるBCP対策(上流) (2) 調達アンケート実施率(上流) (3) ESG評価機関の高評価獲得(下流)	高リスクサプライヤー数ゼロ 全取引先へのアンケート実施 Ecovadis Gold
⑧ お客さまとの信頼関係の構築	・製品安全と品質の向上	(1) 品質管理システムの統合・管理レベル高度化	重大品質事故発生件数ゼロ
⑨ 公正な企業活動	・コーポレートガバナンス高度化	(1) コンプライアンスリスク管理の徹底	重大なコンプライアンス違反件数ゼロ
⑩ 情報開示とステークホルダーとの建設的な対話		(2) グループポリシー・社内規定整備の推進	優先度を踏まえた計画的な整備
⑪ リスクマネジメント		(3) コンプライアンス教育の実施	全グループ社員受講
⑫ 会社の有形・無形資産の保護と管理・活用		(4) 内部通報制度の適切な運営と通報への対応状況の開示	ESG情報サイトでの開示
⑬ 経営トップの役割と基本方針の徹底		(5) Vision・経営計画の浸透 (6) 内部統制フレームワークのグループ内整備 (7) 統合リスクマネジメント(ERM)の推進	Visionと経営計画の浸透 全グループ会社への内部統制フレームワーク整備完了 管理部門の統制と経営基盤の強化

3 経営計画「Mission2030」におけるマテリアリティ(重要経営課題)の位置づけ

経営計画「Mission2030」の「3つの成長戦略(事業価値創造、人財価値創造、経営価値創造)」は、マテリアリティ(重要経営課題)を基盤として構成しています。それぞれの課題解決に向けて、具体的な施策とKPIを定めて目標達成を目指しています。

「事業価値創造」では、各事業部門が、新事業創出、健康寿命の延伸と健康格差の是正、サステナブルな都市と暮らしの充実、カーボンニュートラルの実現、環境の保全・環境負荷の最小化というマテリアリティを基軸に据えて、事業価値の創造と拡大を目指しています。

「人財価値創造」においては、社員一人ひとりが自己実現と成長を実感できる企業を目指し、「人財育成体制の強化」「DE&Iの推進」「健康経営と働き方改革」のそれぞれのマテリアリティにおいて、KPIを設定しています。

「経営価値創造」では、ESG経営の観点から、企業存続の前提となる経営基盤の強化を図るため、プロセス革新、人権の尊重、安全最優先、サプライチェーンマネジメント、製品安全、コーポレートガバナンスの高度化を、基本方針として掲げています。

デンカのマテリアリティは、経営基盤におけるサステナビリティ課題のリスク・機会を中長期的な視点で対応し、ビジョンの実現を目指すための必須な要素として、事業活動の基軸となっています。

経営計画「Mission2030」

事業価値創造



人財価値創造



経営価値創造



マテリアリティ

新事業創出による持続的成長
健康寿命の延伸と健康格差の是正
サステナブルな都市と暮らしの充実
カーボンニュートラルの実現
環境の保全・環境負荷の最小化

人財育成体制の強化
DE&Iの推進
健康経営と働き方改革

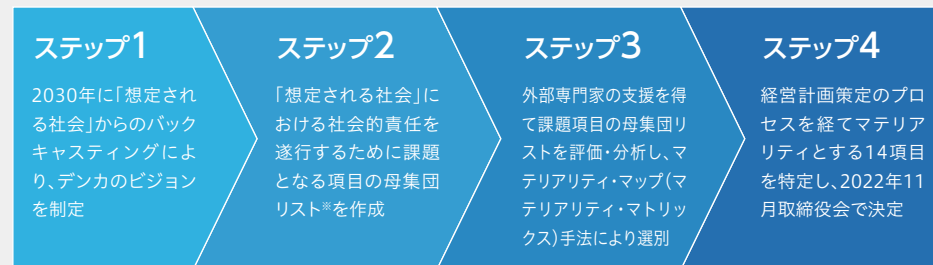
プロセス革新
人権の尊重
安全最優先
サプライチェーン・マネジメント
製品安全と品質の向上
コーポレートガバナンス高度化

4 マテリアリティ見直し

マテリアリティおよび非財務指標(KPI)については、サステナビリティを巡る課題や社会のニーズ、ステークホルダーの期待の変化に応え、事業活動と経済・環境・社会への相互のインパクトを経営に反映させるために、適宜見直しを行います。

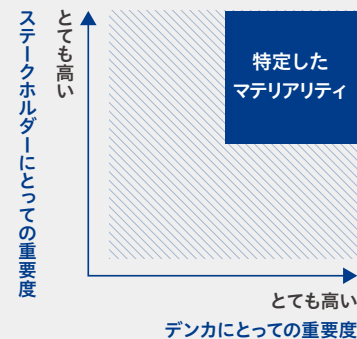
2022年度のマテリアリティ見直しプロセス

当社は経営計画「Mission2030」の策定に際して、2030年までの中長期にわたるサステナビリティ課題を分析・評価し、マテリアリティの見直しを実施しました。



*社会課題項目の母集団：世界経済フォーラム(WEF)グローバルリスク報告書(2022年版)、持続可能な開発目標(SDGs)、SASBスタンダード、CDP等のESG評価機関調査項目を分析し、23カテゴリー／333項目に分類したものを

マテリアリティ分析マップ



課題テーマ	マテリアリティ(14項目)
- 気候変動・環境汚染 - ダイバーシティ - 人権・ジェンダー - 医療・健康・ヘルスケア - 安全・労働・雇用 - 生物多様性 - 水・公衆衛生 - ガバナンス - 技術の進歩 - 品質・サプライチェーンマネジメント - 人財育成・教育 - エネルギー・資源 - 都市化 - インフラ - 海洋汚染 - サーキュラーエコノミー - 人口 - 貧困・飢餓 - 国・社会・地政学 - 水産資源 - 森林資源 - ライフスタイルの多様化 - 経済の成長	サステナビリティ社会への責任と貢献 ・新事業創出による持続的成長 ・健康寿命の延伸と健康格差の是正 ・サステナブルな都市と暮らしの充実 ・カーボンニュートラルの実現 ・環境の保全・環境負荷の最小化 事業基盤の強化 ・人財育成体制の強化 ・DE&Iの推進 ・健康経営と働き方改革 ・プロセス革新 ・人権の尊重 ・安全最優先 ・サプライチェーン・マネジメント ・製品安全と品質の向上 ・コーポレートガバナンス高度化